

クルクルくりん (1984)

メディア TV
ジャンル コメディ ファンタジー
製作国 日本
色彩 Color
1984/04/27 ~ 1984/09/21
金曜日
TV放映 19:00~19:30
フジテレビ

【解説】
ロックバンド・横浜銀蠅を中心にいかついヤツらが集まっている銀蠅一家に、可憐な妹分として14歳でデビューしたアイドル岩井小百合の初の主演ドラマ。何にでも変身してしまうくりんちゃんの困った能力を巡る騒動を描く。『翔んだカップル』等の路線を受け継ぐ学園コメディーではあるが、SF的な味付けを施すことでやや毛色の異なる作品に仕上がっている。ファーストコンサートを武道館で開くというエピソードの持ち主である岩井小百合の、これは女優デビュー作でもある。そもそも番組が狙っていたのは、様々な職業の女性に変身するくりんを通して、岩井小百合の魅力をあらゆる面から引き出すことだったと思われるが、残念ながら1番組中で多くのキャラクターを演じ分けることは、これまで演技経験のない彼女には少々荷が重かったようだ。番組の出来は放映回ごとのバラつきが大きく、作品を通じてのノリが感じられないのは残念である。最終回にいたってはくりんちゃんがゴジラに変身してしまうため、岩井小百合の登場シーンが非常に少ない。番組視聴者の多くを占めていたであろう岩井小百合ファンにとっては、番組そのものの終了以上に無念な回であったろう。
なお、ゴジラとなったくりんちゃんが暴れるシーンは『ゴジラの逆襲』の大阪城での決戦シーンを流用している。また別の回では『さよならジュピター』を流用している場面もあり、特撮ファンは要チェックである。また『キネマの天地』に抜擢される前の有森也美が、いじわるなクラスメート役で共演していることにも注目したい。

【クレジット】
企画 重村一
清水賢治 (フジテレビ)
プロデューサー 森田要
上木則安 (東宝)
原作 とり・みき Tori Miki
音楽 風戸慎介
出演 岩井小百合 東山くりん
穴戸錠 東山博士
小倉久寛 ヤスダ助手
有森也実 麻衣さん